研修 評価

研修名	看護現場で活かせるフィジカルアセスメント - 急性期編一				
領域	ニーズをとらえる力を高める研修	会場	看護研修センター	受講料	会 員：3,080 円 非会員：9,240 円
対 象	学習段階レベル（Ⅰ～Ⅳ） 募集数(80人)応募数(84人)参加数(80人)会員数(78人)非会員数(2人)				
日 時	2024年9月11日 10:00～16:00				
ねらい（目標）	臨床で実践する機関が多いフィジカルアセスメントの意義実技を学び、看護ケアに活かすことができる。				
講 師	新潟県立中央病院 集中ケア認定看護師 松井ルミ子 様				
内容・方法	<p>○講義と演習</p> <p>(1)看護におけるフィジカルアセスメントとは</p> <p>(2)呼吸器・循環器系の構造と機能</p> <p>(3)問診、症状、徴候からのアセスメント</p> <p>(4)身体期の別のフィジカルアセスメント</p> <p>(5)フィジカルアセスメントに共通する技術</p> <p>(6) 基本的なフィジカルイグザミネーション</p>				
結 果	<p>○参加者数 80名 100% 【達成・未達成】</p> <p>○アンケート結果（回収率64%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解度 94.1% 【達成・未達成】 ・自己課題の達成度 92.2% 【達成・未達成】 <p>○受講者の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なフィジカルアセスメントについて学び、今までの自分のアセスメントが、浅いということがわかった。このまま学びを活かして、患者の状態を正確に判断していきたい。 ・グループワークで事例について話し合う際、お互いの知識を出し合い、考えを導き出すことができ楽しかったです。 ・パワポに書いてあることをそのまま読んでいっただけで、得られることが少ないと感じた。講師の方が、スライドに書いてある字を読めなかつたり、意味が分からないことがあるなど、受講者側に伝わりにくかったと思う。今回の内容であれば、対象のラダーレベルをもう少し下げてもよいと思った。 				
評価・総括	<p>○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した・達成しなかった】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ・目標・企画内容・時間配分など：適切であった。 ・アンケート結果：肯定的意見が多く、前向きな意見が多く、満足度も高かった。 <p>○総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床で実践できる講義内容であり、次年度も継続していきたい。 				
課 題	・特になし				
担当者	教育委員				

評価基準：

- ①参加数が募集数の70%以上
- ②研修内容の理解度（できた、ほぼできた）80%以上
- ③自己課題の達成度又は研修目標（知識技術）の習得度（できた、ほぼできた）80%以上
- ④アンケートの意見